

平成 29 年度（開校 50 周年）

GO GO 5!

たちつてトンパーク

【 5 年生の主な行事 】

① 前期 (仲間)	4 月	6 日	平成 29 年度始業式、入学式		
		21 日	さけ放流式	ふれあい	総合
		28 日	ふれあい出合いの会	ふれあい	
	5 月	2 日	トンパーク集会～仲間～	全校	5 年
		27 日	開校 50 周年記念大運動会	全校	5 年
	6 月	16 日	校外学習(ハローミュージアム、豊平川さけ科学館)		図工・総合
② 前期 (仲間)	7 月	13 日	開校 50 周年記念教育実践発表会	50 周年	国語・算数
		25 日	1 学期終業式		
	8 月	21 日	2 学期始業式		
	9 月	15 日	ふれあい遠足	ふれあい	
		29 日	前期通知表配付		
③ 後期 (絆)	10 月	1 日	開校記念日		
		6 日	開校 50 周年記念式典	50 周年	
		18 日	滝野宿泊学習 1 日目		5 年
		19 日	滝野宿泊学習 2 日目		5 年
		23 日	クラブ発表会(～31 日)	クラブ	
		24 日	芸術鑑賞会		
		* 日	さけ遡上観察		総合
		* 日	さけ授精式		総合
		* 日	さけの飼育(～4 月の放流式まで)		総合
	11 月	18 日	地域保護者学校公開		
		29 日	学習発表会児童公開日①		
		30 日	学習発表会児童公開日②		
	12 月	3 日	開校 50 周年記念学習発表会		
		15 日	ふれあい集会	ふれあい	
	25 日	2 学期終業式			
④ 後期 (絆)	1 月	22 日	3 学期始業式		
	2 月	5 日	スキー学習(手稲山)		
		16 日	ふれあいお別れ会	ふれあい	
		23 日	トンパーク集会～絆～	全校	5 年
	3 月	20 日	卒業式	全校	5 年
		23 日	修了式 後期通知表配付		
	4 月	6 日	平成 30 年度始業式、入学式		6 年

サーモンプロジェクト ① No.1

～ 東白石小学校の特色ある学習…さけ学習について知ろう。

開校 50 周年記念式典・祝う会 (10 月 6 日) : ※10/1 開校記念日

〈テーマ〉

つなげよう、カムバックサーモンスピリット

東白石小学校では、“さけ学習”という特徴ある取組をしている。しかし、さけの放流は毎年続けているものの、この取組が始まった当初の記憶はうすれてきているようだ。どのような思いで始まったのか、どのような人が関わってきたのかなど、50周年の節目に、東白石小学校の特徴ある“さけ学習”について知り、未来につなげていきたい。

以上のような開校 50 周年のテーマを受け、5年生がさけ学習の取組の歴史について調べ、東白石小学校のみんなに伝えていくことになりました。発表の場は、10月6日(金)の開校 50 周年記念式典・祝う会です。

※ サーマンプロジェクト②では、さけの飼育について主に学習します。それらは平成 30 年度(みんなが 6 年生になったとき)のさけ放流式の日(金)に体育館で発表する予定です。

◇ 東白石小学校の“さけ学習”について、知っていることは何ですか。

サーモンプロジェクト ① No.2

つなげよう、
カムバックサーモンスピリット

名前

○ カムバックサーモン運動

1978年、札幌市内を流れる豊平川にサケを呼び戻そう、と始まった「カムバックサーモン運動」は、自然環境問題に対するはじめての市民運動でした。

※ マルハニチロ『サーモンミュージアム』HPより



札幌市立東白石小学校の「さけ学習」は、1979年(昭和54年)2月、当時5年生の女の子の「わたしたちも、カムバックサーモン運動に協力しましょう」という一言から始まりました。

※ マルハニチロ『サーモンミュージアム』HPより



○ 豊平川さけ科学館

「カムバックサーモン運動」が起こり、1979年春には、30年ぶりに豊平川へのサケ稚魚の放流が再開されました。その稚魚たちは、1981年秋以降、親ザケとして豊平川に帰って来ました。サケの姿を見た市民からは「サケのふ化・放流を続けるための市民のふ化場を」、また「サケについて学習するための施設を」といった声が高まり、その声を受けて1984年10月に札幌市豊平川さけ科学館が開館しました。

※ 豊平川さけ科学館 HPより

◇ DVD『カムバックサーモン～その歩みと未来～』を見て、気付いたこと、考えたこと、疑問に思ったことなどを書きましょう。

サーモンプロジェクト ① No.3

つなげよう、
カムバックサーモンスピリット

名前 _____

○ 豊平川さけ科学館見学

1. 日時 6月16日(金)

午前：ハローミュージアム
昼食：芸術の森美術館前広場
午後：豊平川さけ科学館見学

2. 目的

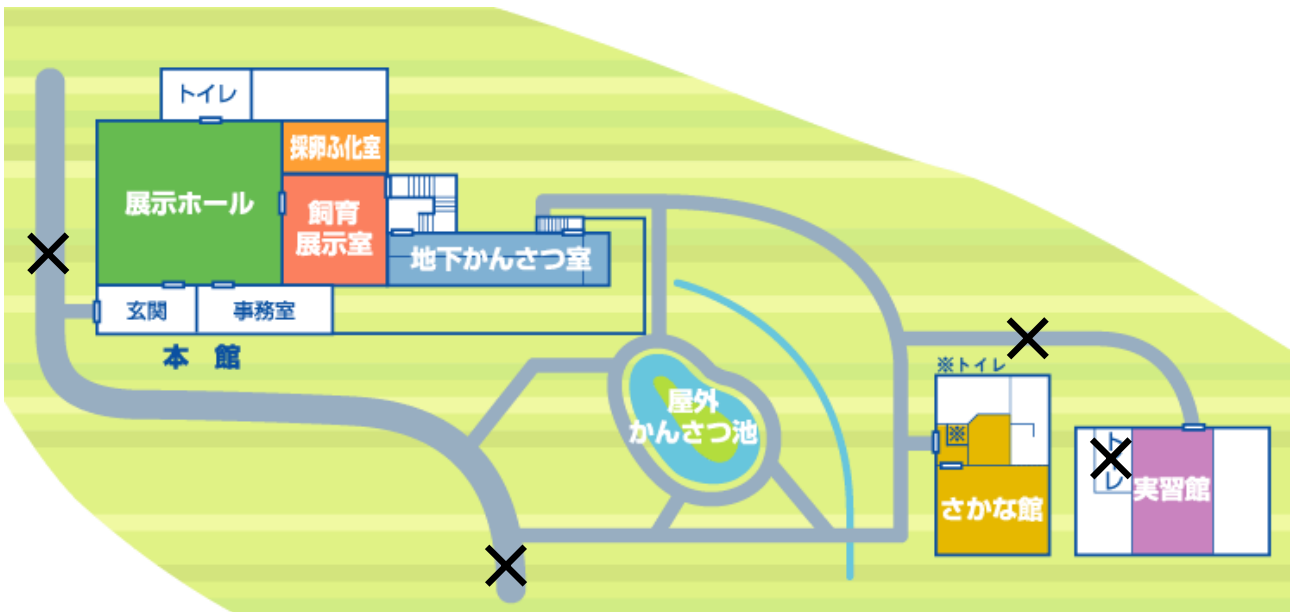
- 札幌市のカムバックサーモン運動の取組に目を向け、トンパークタイム『サーモンプロジェクト①』での自分の課題を見付ける。
- 東白石小学校で行われているさけ学習の歴史を知る。

3. 持ち物

- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お弁当 | <input type="checkbox"/> 水筒 (水かお茶) | <input type="checkbox"/> しき物 | <input type="checkbox"/> おしぼり |
| <input type="checkbox"/> ハンカチ・ティッシュ | | <input type="checkbox"/> 体育帽子 | <input type="checkbox"/> かっぱ |
| <input type="checkbox"/> 筆記用具 | <input type="checkbox"/> 探検バッグ | <input type="checkbox"/> 学習プリント | <input type="checkbox"/> 腕時計 (ある人) |

4. 自分のめあて


5. 館内地図



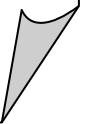
6. 知りたいこと

7. 見学して、気付いたこと、わかったこと、聞きたいこと、もっと知りたいこと など

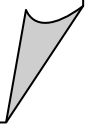
--memo--



--memo--



-- memo--



サーモンプロジェクト ① No.4

つなげよう、
カムバックサーモンスピリット

名前 _____

1. 課題の設定（調べたいこと・知りたいこと・みんなも知ってほしいこと）

--

2. 計画（調べ方・具体的な内容）

調べること	調べ方	準備など

開校 50 周年記念式典・祝う会 (10 月 6 日) : ※10/1 開校記念日

〈テーマ〉

つなげよう、カムバックサーモンスピリット

東白石小学校では、“さけ学習”という特徴ある取組をしている。しかし、さけの放流は毎年続けているものの、この取組が始まった当初の記憶はうすれてきているようだ。どのような思いで始まったのか、どのような人が関わってきたのかなど、50 周年の節目に、東白石小学校の特徴ある“さけ学習”について知り、未来につなげていきたい。

○ カムバックサーモン運動

1978 年、札幌市内を流れる豊平川にサケを呼び戻そう、と始まった「カムバックサーモン運動」は、自然環境問題に対するはじめての市民運動でした。

※ マルハニチロ『サーモンミュージアム』HP より



札幌市立東白石小学校の「さけ学習」は、1979 年(昭和 54 年)2 月、当時 5 年生の女の子の「わたしたちも、カムバックサーモン運動に協力しましょう」という一言から始まりました。

※ マルハニチロ『サーモンミュージアム』HP より



○ 札幌ワイルドサーモンプロジェクト

札幌ワイルドサーモンプロジェクト(SWSP)は、札幌市内を流れる豊平川において、1980 年代にカムバックサーモン運動によって遡上が復活したサケ個体群を、人の助けによらず自力で世代交代していける「野生魚」に戻すことを目指して、2014 年に始まった活動です。

※ 豊平川さけ科学館 HP より



*参考資料

世界各地の大都市で環境問題への関心が高まり、絶滅したサケを川に呼び戻す活動が盛んです。 札幌市はそのトップランナーです。	1981年	豊平川(日本・札幌市)放流サケの回帰を確認。
	1982年	テムズ川(イギリス・ロンドン市)160年ぶりに生きたサケを捕獲。
	1985年	豊平川(日本・札幌市)放流サケの自然産卵が再開。
	1990年	ライン川(欧州主要17都市を経由)サケの回帰が再開。
	1994年	琴似発寒川(日本・札幌市)サケ1000尾の遡上を確認。
	2003年	石狩川上流(日本・旭川市など)約40年ぶりにサケの回帰を確認。
	2009年	セーヌ川(フランス・パリ市)サケ1000尾の遡上を確認。
	2011年	利根川(日本・群馬県など)サケの回帰数が1万5000尾を突破。
	2014年	豊平川(日本・札幌市)札幌ワイルドサーモンプロジェクト始動。

アイヌ語

カムイチェブ

kammuycep

カムイの魚

札幌市のマンホールに、サケが描かれているのをご存じですか？

サケは札幌の自然環境のシンボルとして市民の生活に溶け込んでいます。

毎年サケの遡上が始まるころ、豊平川のほとりで開かれる先住民族アイヌの伝統儀式アシリチェブノミには、大勢の人々が集まって自然の恵みに感謝を捧げます。

2014年、開館30周年を迎えた札幌市豊平川さけ科学館は、国内唯一の「市民の孵化場」として始まった豊平川サケ個体群復元と環境学習の拠点施設。

多くのボランティアとともにサケを中心とする自然生態系を見まもり続け、市民や旅行者のみなさんに最新情報を提供しています。

194万人を擁する大都会で幹線道路の橋の上から野生サケたちが自然産卵しているシーンを観察できるのも札幌ならではの。

札幌ワイルドサーモンプロジェクト（SWSP）は、札幌市民のこんな「サケ文化」をいっそう高めていきたいと考えています。



デザインの由来



設置開始 1998年



札幌市時計台

札幌市は、サケの遡上が見られる自然豊かな都市です。毎年、産卵期を迎えたサケがのぼる水系の1つが豊平川です。サケは、アイヌの人びとが「神の魚」と呼んで大切にしてきましたが、一時水質が悪化し、豊平川から姿を消した時期がありました。そこから回復に向かう決め手となったのが下水道整備です。1970年代に入って水質はみるみる良くなり、カムバックサーモン運動の展開もあって、今では2,000尾のサケが遡上するまでに回復しました。マンホール蓋には豊平川のサケと合わせて時計台もデザインされていますが、そこには「時を告げる鐘の音と共に街の発展が続くように」の想いが込められています。

1604-00-001

札幌市下水道科学館

©GKPマエプロ



サーモンプロジェクト ① No.5

つなげよう、
カムバックサーモンスピリット

名前 _____

1. 課題の設定（調べたいこと・知りたいこと・みんなも知ってほしいこと）

--

2. 調べたこと、分かったこと

調べたこと	調べ方

3. 今日の振り返り

5年トンパークタイム

未来につなげよう！
カムバックサーモンスピリット

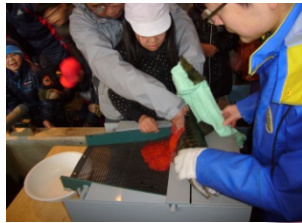
サーモンプロジェクト②

名前 _____

No. 1 (1) ~授精式に向けて~



サケの命



自分の命



みんなの命



遡上観察



環境から学ぶ

授精



飼育活動

命の尊さ
自然の大切さ

放流

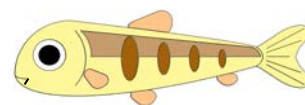


環境について学ぶ

環境のために学ぶ



No. 1 (2) ~授精式に向けて~



☆さけ授精式で、

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing notes related to the fertilization process.

をよく見てくる！！

☆授精式ここが楽しみ！！

A large, empty rounded rectangular box with a thin black border, intended for writing notes about the excitement of the fertilization process.

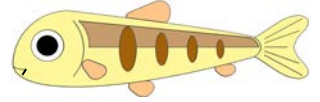
☆飼育の決意

A large, empty rounded rectangular box with a thin black border, intended for writing notes about the determination to raise the fish.

サーモンプロジェクト②

名前 _____

No. 2 ～授精式を終わって～



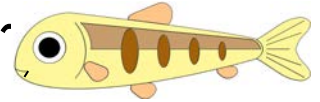
☆授精式をして分かったこと、気づいたこと、感想

☆飼育に向けての決意

サーモンプロジェクト②

名前 _____

No. 3 ~川をのぼってきたさけを見に行こう（遡上観察）



☆さけ遡上観察で、

をよく見てくる！！

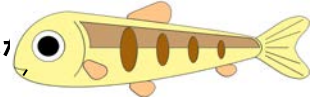
☆川を上ってきたさけのどんなところを見てみたいかな。

☆さけのことで、さけ科学館の方に聞いてみたいこと

サーモンプロジェクト②

名前 _____

No. 4 ～^{そじょう}遡上観察を終えて～川を上ってきたさけを見て何を感じたか



☆さけの遡上観察に行つて分かつたこと、感じたこと、思つたこと

☆さけのことで、さけ科学館の方に聞いて分かつたこと

さけ遡上観察 要領

1. 日程

○遡上観察 11/1(水) 予備日 11/10(金)
※小雨決行 荒天延期

延期の場合、8:30 までに
JRバスに連絡する。

2. 現地下見(豊平川東橋近辺になると思います)

観察場所(河原)・利用交通機関(バス)の確認

3. さけ科学館との打ち合わせ(本間・小竹)

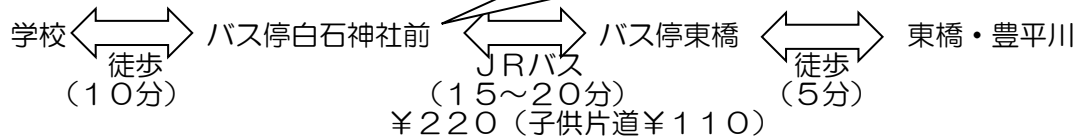
時期・場所・進行の流れの確認をする

※さけ科学館 TEL011-582-7555



4. 遡上観察(およその流れ)

交通手段



5. 事前準備

- 遡上観察までに事前にさけについての学習を進めていってください。これまでに使用した教材や指導案、さけに関するビデオ「さけの命の不思議」がありますのでご利用ください。
- 遡上観察時に科学館の方への質問を事前に用意する
- バス会社との連絡、調整
- バス賃金(220円)について、現金払いかSAPICAの使用ついて学年だよりで知らせる。

6. 引率

5学年担任2名、ゆうルーム担任*名、担任外1名、学習館館長(副館長)
持ち物 □救急バック □ビデオカメラ □デジカメ など

7. 持ち物(児童)(リュックに入れる・体育帽子をかぶる)

□長靴 □タオル □ハンカチ
□ティッシュ □雨具 □筆記用具 □メモ帳 □その他必要な学習道具

8. 日程(昨年を参考に)

- 全校朝会朝会后 まっすぐ玄関へ
トイレに行きたい人のみ3階へ
- 9:25 玄関前に集合
学校発
- 9:35 バス停白石神社前着
9:39 バス乗車
- ↓
- 9:57 バス到着(バス停東橋)
- ↓
- 10:00 橋の上から遡上の様子観察
- ↓
- 10:05 河原へ移動
- ↓
- 10:10 河原からさけの様子・捕獲観察
- ↓
- 10:30 科学館の方のお話
【内容】・さけについての説明
・質問タイム ←※事前に用意
- ↓
- 11:20 現地発
11:44 バス乗車(バス停東橋)
- ↓
- 11:40 バス到着(バス停白石神社前)
- ↓
- 12:15 学校着
学校に到着したらワークシートに今日のことをまとめたり、感想を書いたりする



今年度は、遡上観察と授精式が逆の日程になってしまいました。

幸い、50周年式典の関係で、今年度の5年生は、1学期にサーモンプロジェクト(トンパークタイム)を行っていたので、内容は理解できていた上で授精式を迎えられると思います。

さけ受精式《10/27(金)》 要領

1. 授精式までに行うこと

- ①さけ係を各クラス5名選出
- ②さけ学習館の準備(さけ係を中心に)
 - ・砂利洗い、砂利天日干し【10月中に(全員で)】
 - ・学習館清掃【10月中】
 - ・石敷き【10月中】
 - ・アルミ製雛壇の設置【前日昼休み(全員で)】
- ③卵を数えるグループ分け
各クラス5つのグループ(2人ペア)に分けておく
- ④調理の器具・材料の準備(行う場合)
- ⑤調理ボランティアへの案内状作成
- ⑥さけ科学館との連絡調整(本間)



例：さけのちゃんちゃん焼き
【器具】
包丁・まな板・ボール・フライパン
アルミホイル

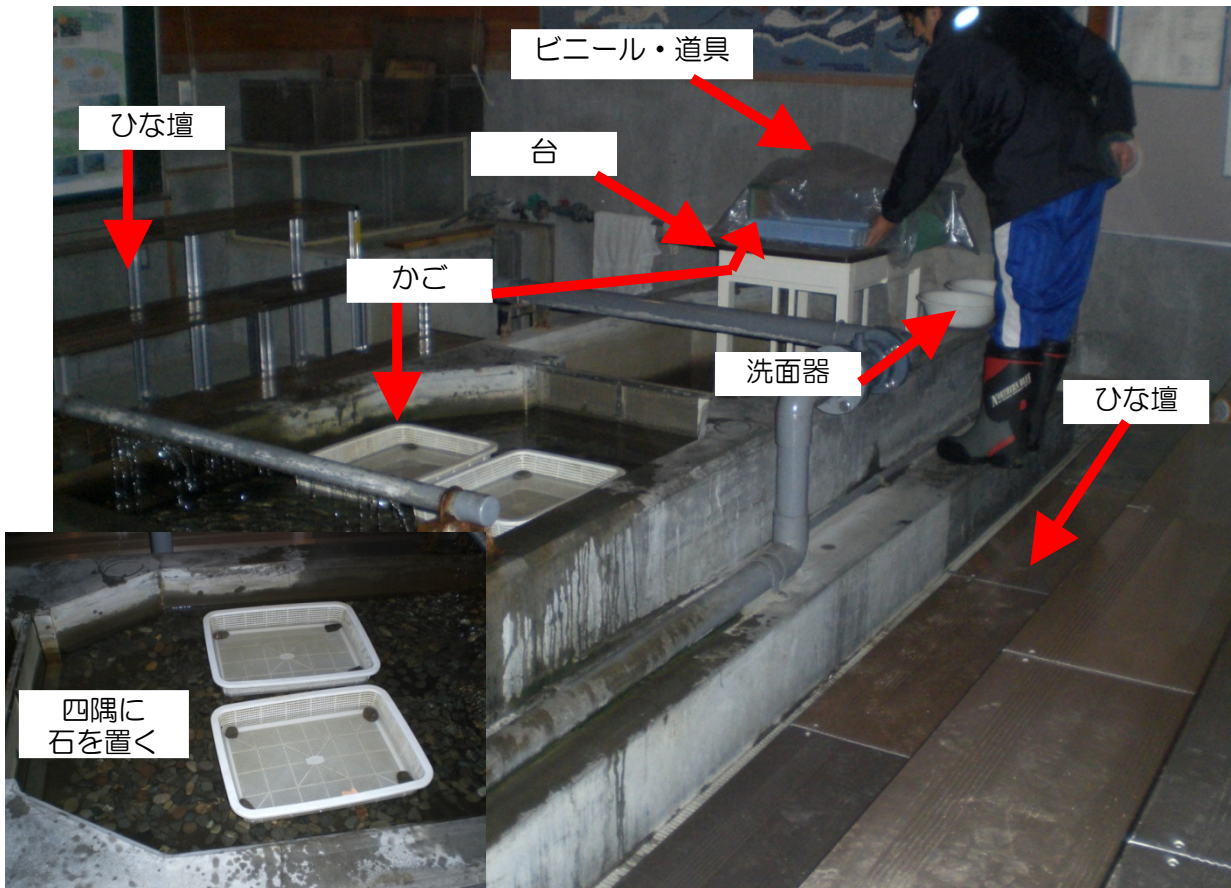
【材料】
さけ・油・マーガリン・たまねぎ
キャベツ・しめじ・みそ・みりん
砂糖

その他に・・・
・石狩汁 ・さけのマリネ
・さけの塩焼き

2. 使用する道具の準備

- 魚をさばく時に使う台
- 腹をさくナイフ(刃が使えるか確認)
- 卵をかき出す羽 洗面器(2つ)
- かご【1(台用) + 2(水中用)個】
- ひな壇(観覧用) ビニール(大) 2枚

3. 道具の設置



4. さけ授精式の流れ

※外部の方も取材に来るかもしれません

【持ち物】 ハンカチ

【注意点】・手に水をつけないこと

・受精式前に石けんで手を洗わないこと

【日程】

9:50 移動開始

10:00 開始 学習館前に集合。

雨天の場合は学習館の中に集合

司会・進行（2人）

- ①開式の言葉
- ②校長先生のお話
- ③さけ科学館の方のお話
- ④さけ学習館館長のお話
- ⑤受精・飼育・観察の決意発表（1人）
- ⑥雌の腹さき（2人）
1匹につき1名切る。2匹切る予定
- ⑦雄の白子しぼり（10人）
一人ずつ順番に行く。最後の方は出ないこともあるので事前に伝える。
- ⑧卵と精子のかきませ（全員）
※今年は羽で混ぜます。
- ⑨閉会の言葉

終了後 視聴覚室へ移動

野生のさけについてのお話
(パワーポイント使用)

12:15 修了

12:40 給食で「ちゃんちゃん焼き」を食べる
※食べる前に保護者の方に教室に来て
いただくのでお礼を言う

今年度は、午前授業のためこれで終了。

受精卵は、授精1時間後以降にさけ科学館が持ち帰る。

→標識をつけるため

後日（12月）に飼育させてもらう受精卵を持ってきてくれることになっています。

飼育活動は12月以降になります。

事後 ・感想・まとめを書く

・後片付け（休み時間）

- ・雑壇（全員）
- ・学習館内片付け（さけ係）

5. 授精式後の活動予定

・授精式の様子を11月中に他学年に伝える。方法は5年生に一任。（テレビ・新聞・集会などで）時間は必要であれば1コマ使えます。さけの飼育活動に向けて全校児童がさけへの思いを深めていけることが目的となります。

・さけ当番決め（各クラス1日1回。朝・中休み・昼休み。水温や室温、水槽内の観察など）

・さけの飼育を伝える新聞作り

☆調理ボランティアへの礼状作成（翌日に渡す）

【調理ボランティアの動き】

10:00 授精式参加希望者 集合（学習館前）

10:05 授精式見学



11:00 学習館退室

11:10 ボランティア集合（家庭科室）

説明（5年担任）

授精式で使用したさけを届ける（5年担任）
調理

使い終わった器具を洗う

12:30 家庭科室へさけ係児童が取りに行く

12:40 各教室へあいさつ（担任誘導）

12:45 解散

サーモンプロジェクト③

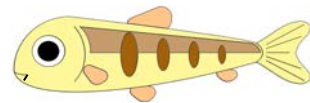
～サケの成長を全校に伝えよう～

名前 _____

《東白石小学校のさけ学習》



～サケの成長を全校に伝えよう～



1. グループのメンバー

2. 伝える方法

3. 内容、計画など